

では、どんな備えをしておけばいいのだろうか？

『3つの生』という考え方をしてみましょう・・・『生命』『生活』『人生』

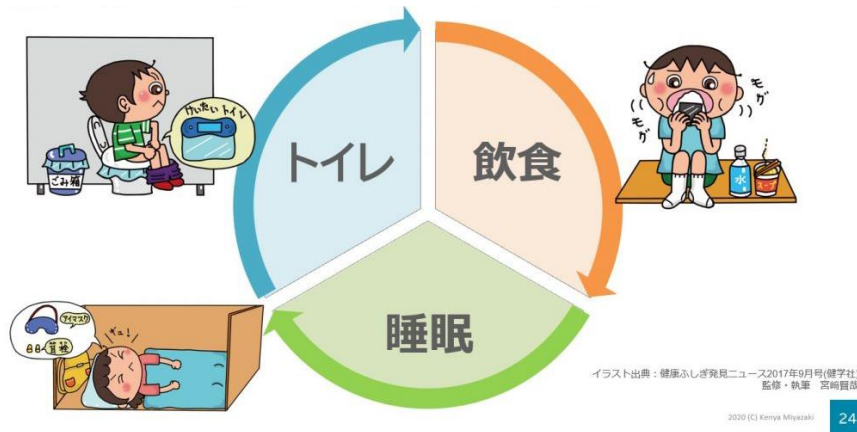
これら『3つの生』に絶対に欠かせない備えとは？

→ 「例え災害が起きても、それがないと困ること」

それは人によってさまざまですが、あえて言えば

「トイレ」「食事・水分」「休憩・睡眠（プライバシー）」の確保ではないでしょうか。

災害後にまず家庭や避難所の対策で必要になってきます。



まず、『家庭』での防災について考えてみる

学校・家庭・地域などそれぞれの場面において『3つの生』に欠かせない備えを考える必要がありますが、今回は『家庭』での防災について考えてみます。

家庭での防災は「家族ひとりひとりが備える」ことがポイントです。

とは言っても・・・何から取り組めばいいのかわからない・・・

→家庭や(子どもがいれば、子どもも含めて)職場、ひとりでも良いので「防災について考える時間」を持つことから始めましょう。防災(教育)で難しいのは「誰もが詳しい訳ではない」ということです。特に、家庭で家族、子どもたちと一緒に考えようと思っても、何から、どうはじめたらいいかわからない、ということも多いと思います。そこで、ムリに「自分が教えるのだ」、「何か答えを出さなくちゃ」という気持ちにならず「いっしょに考える」ことから始めてみましょう。

特に、非常持ち出し袋、防災備蓄の中身などは、家族ひとりひとりで必要なものが異なるはずです。「なんとなく」リュックに詰めて置いている方も多いと思いますが、年に1～2回は非常持出袋や防災グッズの中身を整理しながら、家族と話し合う時間を持ってみましょう。前回配布させていただいた防災通信第1号の『がんばりすぎないお家のそなえ』も参考になさってください！

(引用・参考文献)

宮崎賢哉. “学校・家庭・地域で「防災」について考えてみませんか”. 情熱と不屈の精神 -Kenya Miyazaki.com-. 2014-09-08. <https://kenyamiyazaki.com/archives/105>, (参照 2021-01-12)